

### “Google Colaboratory”を使えば、ブラウザで手軽にPythonの実習ができます!

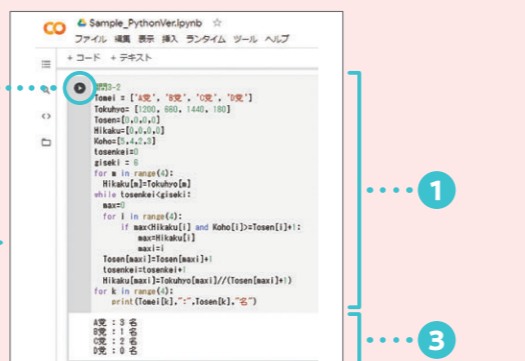


- Googleドライブの“新規”から“アプリを追加”を選択
- “Colaboratory”を検索して追加
- “Google Colaboratory”が使えるようになりました

これで準備は完了です!  
“新規”から“GoogleColaboratory”を選択すれば、すぐにPythonの実習を始めることができます。

- 1 のエリアにコードを書いて
- 2 の実行ボタンを押せば
- 3 のエリアに処理結果が表示されます

※Google Colaboratoryを使用するには、Googleアカウントが必要になります。

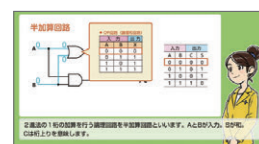


▲大学入試センター「サンプル問題」(第2問の図9)をもとに編集部が作成

### 教科書周辺サポート、生徒用副教材のご案内

#### 教科書 QR コンテンツ

##### アニメーション教材



▲「数の表現方法の変換10進法と2進法」

教科書内のQRコードを読み取ることで34本のアニメーションと290問の用語問題にアクセスできます。

##### 用語問題集



▲出題画面



教科書QRコンテンツサンプルはこちら

#### 教師用指導書

##### 教師用指導書 教授資料

教科書の縮刷にポイント解説を加えた「朱書編」。「情報」の指導に関する解説をまとめた「解説編」。教科書のデータを収録した「デジタルデータ編」で構成する予定です。



#### 生徒用副教材

##### 教科書完全準拠 生徒用副教材 サブノート

教科書の理解を助ける生徒用の副教材です。授業プリントの代わりとして、また定期テスト前の学習教材としてご利用ください。

情報I サブノート (情I 710準拠)  
B5変型判, 164ページ, 定価660円  
(本体600円+税10%)  
ISBN978-4-536-25494-6

116 日文	教科書 記号・番号
情報I	情I 710

本書の無断転載・複製を禁じます。  
CD22304

## 日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618  
大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171  
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938  
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261  
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690



### 令和4年度 高等学校「情報」教科書のご案内

# 情報 I

問題解決を通じて「情報的な見方・考え方」を養い、大学入試、プログラミング、情報デザイン、データサイエンスなど、新しい学習内容にも、しっかりと応えることのできる教科書です。

## 第1章 問題解決の考え方を TRY & GUIDE で身につける

(実習) (解説)

メディアの特性・個人情報・SNSの活用など身近な8つのテーマでウォーミングアップ!

▶問題解決の考え方を身につけよう (第1章3節, p.20)

第1章での学びが、さまざまな問題を解決するための力になる

### 第2章 情報デザイン

▲情報デザインのプロセスと問題の発見 (第2章3節, p.94)

### 第3章 プログラミング

▲アプリケーションの開発① (第3章2節, p.140)

### 第4章 データ活用

▲数値データの分析 (第4章3節, p.194)

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日本文教出版の教科書情報 詳しくはWebへ!

日文 検索

※QRコードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。  
※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。



日本語チャンネル では「情報I」に関する気になる話題を動画で配信しています!

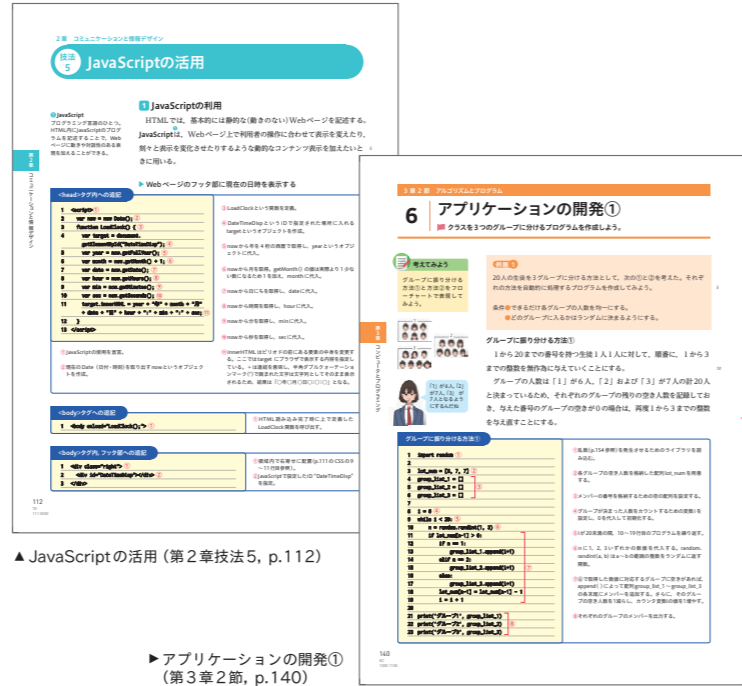
# 実践的なプログラミング実習

問題解決の手段として、第2章では JavaScript、第3章では Python の2つの言語を採用し、実践的なプログラミング実習ができるようにしています。

## JavaScriptとPythonによるプログラミング実習

2章では章末実習として「Webサイトの制作」を選択することができます。同実習では、動的なコンテンツを JavaScript によって作成する「技法」ページを用意しており、生徒にとって身近な Web サイトの利便性が、プログラムによってもたらされていることを、簡単なコーディングによって理解することができます。同技法を授業に取り入れることで、次章で学ぶプログラミングに、スムーズに接続することができます。

3章のプログラミング学習では Python を活用しています。同実習では、「アプリケーションの開発」を通して楽しみながら実践的な学習を進めることができます。Python のコードはシンプルで、プログラミングをはじめて経験する生徒にとって最適な言語だといえます。また、大学入学共通テストに用いられる疑似言語との共通点が多いことも利点のひとつです。機械学習や統計処理などの豊富なライブラリに触れることができ、生徒の探究心に応えることもできます。

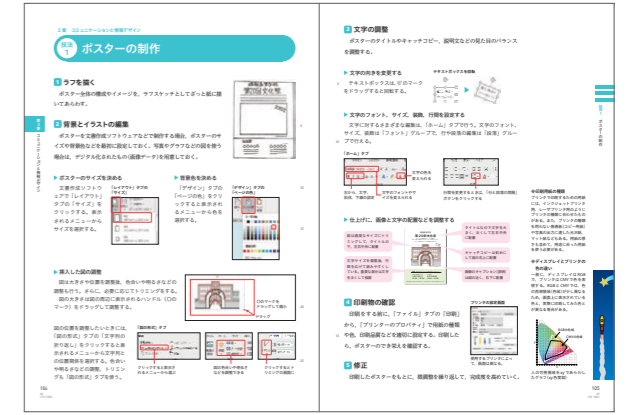


# 実習が選択できる情報デザイン

情報デザインでは、生徒の特性に合わせた実習ができるように、「ポスターの制作」と「Webサイトの制作」を選択できる構成にしています。

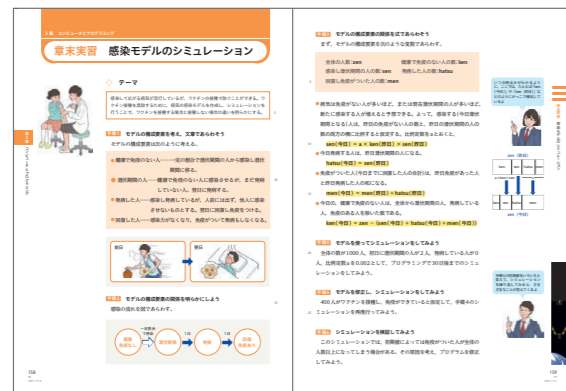
## 「文化祭」をテーマにしたポスターの制作とWebサイトの制作

2章の章末実習では、生徒に身近な「文化祭」をテーマにポスターの制作あるいは Web サイトの制作に取り組みます。ポスターの制作では、文書作成ソフト (Word) を使用した制作手順を記載しています。汎用的な手順を示していますので、学校の環境に合わせて、アレンジして活用いただくことができます。



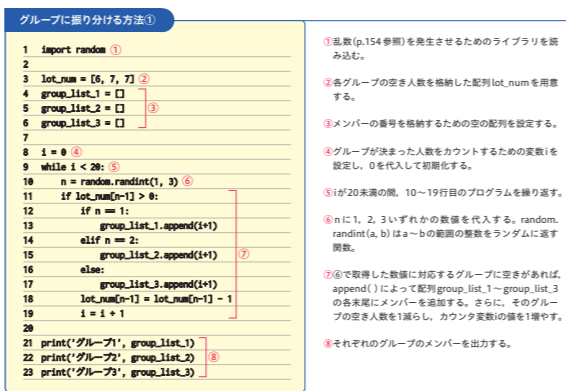
Web サイトの制作では「Webサイトの構造とレイアウト」から、「基本ページの作成 (HTML と CSS)」、「メニューとコンテンツの作成」、「JavaScript の活用」まで段階的に実習を進めることができます。情報デザインの考え方をもとに、生徒が課題に応じて探究的な学習ができるよう工夫しました。

## ✓ 身近なテーマで実感をもって取り組むことができる



“第3章コンピュータとプログラミング”の章末実習では、今日的な題材として“感染モデルのシミュレーション”を取り扱っています。身近なテーマゆえに、実感をもってプログラミング学習に取り組むことができます。

## ✓ ソースコードが見やすく理解しやすいレイアウト



はじめてプログラミングを学習する生徒のために、ソースコードを見やすく表記しています。また、ソースコードにはひとつひとつ丁寧に解説を加え、生徒がストレスなく学習できるように工夫しています。

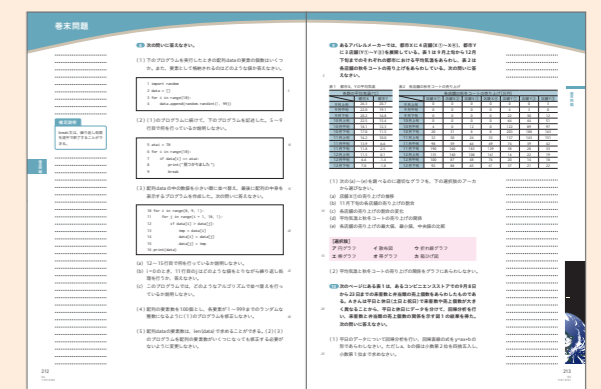
## 大学入学共通テストへの対応

令和6年度以降の大学入学共通テストには「情報I」が出題教科・科目として追加される見通しです。「情報I」の教科書では、大学入学共通テストにもしっかりと備えることができます。

各章末には「章末問題」、巻末には「巻末問題」を設けており、定期テスト対策ほか入試対策にもご利用いただけます。また、教師用指導書には、先生が編集してお使いいただける「テスト問題」を収録する予定です。

章末問題のQRコードからはスマートフォンやタブレットから繰り返し解くことができる「用語問題集」にアクセスでき、楽しみながら「情報の語彙力」を高めることができます。

大学入学共通テストのサンプル問題では、第2問の間1、問3でプログラミングの問題が出題されています。ここで使用されているプログラミング言語は、Pythonとよく似ているため、教科書でPythonに触れておくことは、大きなアドバンテージになるはずです。



```
Tomei = ['A党', 'B党', 'C党', 'D党']
Tokuhyo = [1200, 660, 1440, 180]
sousuu = 0
giseki = 6
for m in range(0, 4):
    sousuu = sousuu + Tokuhyo[m]
kizyunsuu = sousuu / giseki
print('基準得票数:', kizyunsuu)
print('比例配分')
for m in range(0, 4):
    print(Tomei[m], ':', Tokuhyo[m] / kizyunsuu)
```

▲ 大学入試センター「サンプル問題」(第2問の間3)をもとに編集部が作成